



こんなときどうすればいいの？



9 異物を飲み込んだ

◇ 応急処置をする前に、確認すること ◇

すぐに吐かせるもの、吐かせてはいけないもの、害にならないものがあります。

応急処置をする前に、「何を」「どれくらい」「いつ」飲み込んだか確認してください。

※ 処置・対応の方法は

(公財)日本中毒情報センターで相談できます。

(公財) 日本中毒情報センター

● 中毒110番・電話サービス

(情報料無料、一般市民向け)

大阪 072-727-2499 (365日 24時間)

つくば 029-852-9999 (365日 9時~21時)

● タバコ専用電話

(情報料無料、自動音声応答による一般市民向け情報)

大阪 072-726-9922 (365日 24時間)

緊急度
1

次のものを飲み込んだ場合は

ひとまず自宅で様子を見て、
かかりつけ医の診療開始時間まで待ちましょう。

- 化粧品
- シャンプー
- 石けん
- マッチ
- クレヨン
- シリカゲル (乾燥剤)
- 体温計の水銀
- 保冷剤
- 植物活力剤

緊急度
2

次のものを飲み込んだ場合は

すぐに中毒110番(P17参照)、小児救急医療電話相談(P25参照)に相談するか、休日・夜間急病センター(P23参照)を受診してください。

1)吐かせてはいけないもの

- 何を飲んだか分からない
- マニキュア・除光液
- ボタン電池
- 洗浄剤・漂白剤
- コイン
- しょう油(樟脳)
- 灯油・ベンジン

※これらを、吐かせると食道粘膜を傷めたり、肺炎を起こすことがあります危険です。

2)すぐに吐かせるもの

- タバコ
- ほう酸団子
- 大量の医薬品
- ナフタリン・パラジクロロベンゼン(防虫剤)

緊急度
3

● 次のような症状が1つでもあれば、

迷わず救急車を呼んでください。

- ① 意識がない、意識がぼんやりしている
- ② 呼吸が弱い、急にせき込んで息苦しそう
- ③ 顔や唇の色が紫色になっている

一口メモ

子どもの誤飲で最も多いものは「タバコ」です

致死量はタバコまるまる2本です。タバコそのものを食べても、ニコチン中毒を起こすことはあまりありません。しかし、ジュースの缶などを灰皿代わりに使い、その液を飲んだときには重症となることがあります。すぐに吐かせてください。

◎ 吐かせ方: 舌の奥を下に押しつける。濃くぬるいお茶を作り、くり返し飲ませて吐かせる。(胃を洗ってタバコを出し、お茶のタンニンでニコチンを中和する。)

◎ 牛乳や水は飲ませないでください。ニコチンの吸収を速めます。

◎ 誤飲を防ぐため、タバコの管理と灰皿の始末は厳重にしてください。